



野木小学校だより

# 野ぎくの子

校長室から 2024/2/20

2023年度 学校教育目標

「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」

【めざす児童像】

よく考える人・自分や人を大切にする人・チャレンジする人



## 学習発表会から

〔1年生〕  
生活  
道徳  
音楽



〔2年生〕  
音楽



〔3年生〕  
音楽  
国語  
算数



〔4年生〕  
社会  
総合



〔5年生〕  
総合



〔6年生〕  
総合  
図工  
国語



### 49 現代版の「孟母三遷」

「環境が人を育てる」。子供の教育と、環境の大事さを伝える「孟母三遷」という教えがある。中国の戦国時代の思想家孟子を育てた母は、住まい周辺の環境に目をつけ、学校のそばに住むことを選んだ▼ノーベル生理学・医学賞受賞の大村智博士は、詩人の大岡信氏の「眺望は人を養う」を引用しながら、故郷山梨県韮崎市への思いを語る。「きれいな場所に生まれ、そして育つということは、人をまともなものにするんです」▼大リーグで活躍中の大谷翔平選手や菊池雄星投手を輩出する岩手県。いわてスーパースターズ発掘・育成事業

を2007年から始め、世界的トップアスリートとなる人材の発掘・育成に取り組む。北京五輪ノルディックスキージャンプの金メダリスト小林陵侖選手など、人材豊富なのは支援のたまものか▼自然に囲まれ、伸び伸び子育てをしたいと、田園回帰の波も。こうした層も意識し、自治体も知恵を絞る。愛知県新城市は、「孟母三遷」に着目し、子育て環境の充実へ教育に力を入れ、移住者の誘致を進める▼自然は時に優しく人を育む。ノーベル賞だって、大リーグのMVPだって、田園風景の産物だと思いたい。現代版の「孟母三遷」は、豊かな自然の中で暮らすことかもしれない。(7月22日付)



↑「四季百選 2023」日本農業新聞社刊地区のある方からいただきました。1年間分の新聞コラムから厳選された100本がまとめられています。農業や食糧、環境などの課題に対して示唆に富んだ語り口で、一気読みさせていただきました。素敵な贈り物をどうもありがとうございました！

## ～3月のおもな行事予定～

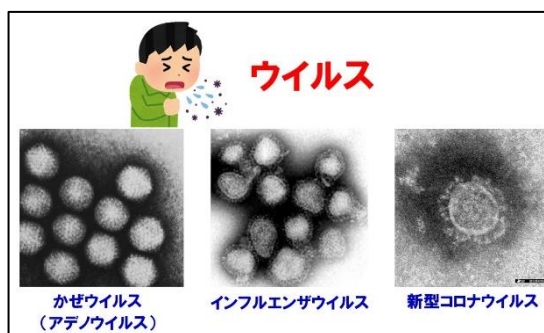
- 3月 1日(金) 6年生を送る会 13:20～14:30  
※保護者・地域の皆様もお気軽にご参観ください。
- 3月 4日(月)～8日(金) 3年生あいさつ運動週間 新年度登下校班長・副班長体験週間
- 3月11日(月) 職員会議 14:30一斉下校
- 3月12日(火) 卒業式予行
- 3月13日(水) 卒業式準備 1～3・6年…14:30下校 4・5年…15:30下校
- 3月14日(木) 第115回卒業式 11:50一斉下校(1～5年)
- 3月20日(水) 春分の日
- 3月21日(木) 給食この日まで
- 3月22日(金) 修了式・離任式(6年生も一緒に登下校) 10:30一斉下校
- 3月25日(月)～4月7日(日) 春休み



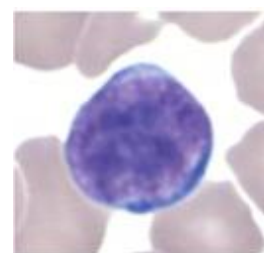
2月4日は立春で暦の上ではもう春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続きます。そこで今日は「風邪やインフルエンザ、コロナに負けないために」というお話をします。風邪やインフルエンザの予防で大事なものは、

○手洗い・うがい・マスク ○睡眠や栄養をしっかりとる ○ワクチンの予防注射をするなどですが、これはみなさんもよく知っていますね。今日はこれらの他にもう一つの大事な秘訣を教えますからよ〜く聞いてください。この秘訣は風邪やインフルエンザだけでなく、がんなどあらゆる病気にかかりにくくするすごい力があります。一体何だと思いませんか？

まず風邪やインフルエンザ、コロナなどは、咳やくしゃみなどの飛沫に含まれているウイルスと呼ばれる病原体が鼻やのど、目などの粘膜から、体の中に侵入することによって起こります。だから、風邪の予防のために「手洗い・うがい・マスク」が大事だとよく言われるのは、ウイルスが体の中に入らないようにするためなのです。風邪やインフルエンザになるとのどが痛くなったり、咳や鼻水が出たりするのは、体の入り口で自分の



体がウイルスと闘っているからです。このウイルスと闘う時に働いているのが血液の中の白血球という成分です。「ばい菌が入ってきた」「ウイルスが入ってきた」という時に、最前線で活躍するのが、白血球の中の「顆粒球」「樹状細胞」「マクロファージ」そして「NK細胞」などです。これらの細胞は、ばい菌やウイルス、がん細胞を「敵」として攻撃します。何やら難しい言葉が並んでいますが、注目してほしい言葉はたった一つ。「NK細胞」すなわち「ナチュラルキラー細胞」です。この細胞が生き生きと働きだすと、いろいろな病気に効果があることが分かってきています。例えば、人の体では毎日約5,000個のがん細胞が発生するといわれています。がん細胞というのは、例えるなら工場で作られた製品の不良品です。その不良品を日々処分しているのが50億個あるといわれるナチュラルキラー細胞です。がん細胞やウイルスなどの敵をパクパク食べてしまうのです。

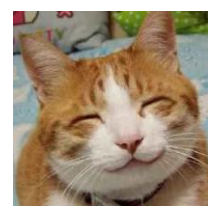


NK細胞

私たちの体にとって素晴らしい働きをしてくれているナチュラルキラー細胞ですが、実は誰でもできる「あること」をするだけで細胞がより生き生きと働きだすことが分かっています。この細胞が働きだすと、いろいろな病気にかかりにくくなり、今かかっている病気もだんだんとよくなっていくのです。さて、「あること」とは一体何でしょうか？ これはお金は全くかかりません。そして誰にでも簡単にできることです。今すぐにでもできます。

では正解を発表します。それは…「笑う」です。ワハハと笑うだけでナチュラルキラー細胞が元気になるのです。どうですか、簡単でしょう。実際に糖尿病の患者さんやリウマチの患者さんたちに漫才や落語を聞いてもらった実験で、5分間いっぱい笑ったあとにデータを測ったところ、よい結果になっていたそうです。

というわけで、誰かが笑うと周りの人にも笑いがうつっていきます。笑いは自分の風邪やインフルエンザ予防になるだけでなく、周りの人たちの予防効果も高めるといえることです。これはまさしく「陰徳」ですね。1日のうちで笑う時間を多くするにはどうしたらいいのでしょうか。楽しい時だけ笑うのだと、笑う時間はそれほど多くなりませんね。アメリカのウイリアム・ジェームズの名言があります。



ネコも笑う（笑）

**「楽しいから笑うのではない 笑うから楽しいのだ」**

楽しい時だけでなく、たとえ辛くても、悲しくても、腹が立っても、おもしろくなくても、寒くても、暑くても笑顔でいることを心がけてみましょう。そして風邪やインフルエンザやコロナのウイルスをナチュラルキラー細胞にやっつけてもらいましょう！